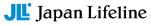


# 2020年3月期 第2四半期 決算説明資料

2019年11月6日 日本ライフライン株式会社

## 本日の内容



- 1. 2020年3月期 第2四半期決算概要
- 2. 2020年3月期 通期業績予想の修正
- 3. 販売状況および今後の見通し

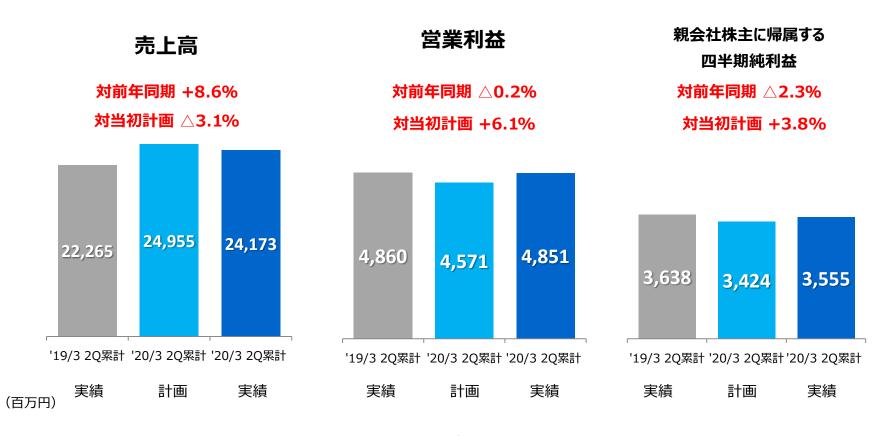


**JL** Japan Lifeline

# 1. 2020年3月期 第2四半期決算概要

常務取締役管理本部長 高橋 省悟

- ・売上高は、計画を僅かに下回るも、新たな仕入先製品の寄与により増収
- ・営業利益は、販管費が当初計画を下回り、前年同期と同水準を維持

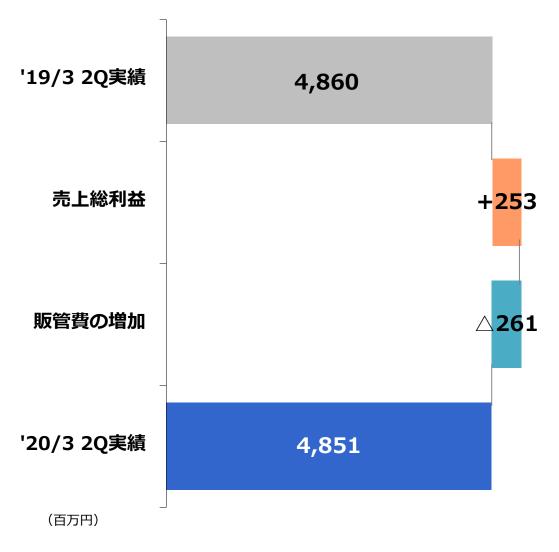


# 2020年3月期2Q累計 連結業績

- ・売上はやや未達となるも、売上総利益率は概ね計画値通り
- ・営業利益率は費用が想定を下回り、計画を1.8pt上回る

(百万円)	2019/3期 2Q累計 (実績)	2020/3期 2Q累計 (計画)	2020/3期 2Q累計 (実績)	前年同期比	計画比	
売 上 高	22,265	24,955	24,173	+8.6%	△3.1%	
売 上 総 利 益	13,579	14,360	13,833	+1.9%	△3.7%	
売上総利益率	61.0%	57.5%	57.2%	△3.8pt	△0.3pt	
販売費及び 一般管理費	8,719	9,788	8,981	+3.0%	△8.2%	
営 業 利 益 営 業 利 益 率	4,860	4,571	4,851	△0.2%	+6.1%	
	21.8%	18.3%	20.1%	△1.7pt	+1.8pt	
親会社株主に帰属する四半期純利益率	3,638	3,424	3,555	<b>△2.3%</b>	+3.8%	
	16.3%	13.7%	14.7%	<b>△1.6pt</b>	+1.0pt	

### 対前年同期 △8百万円

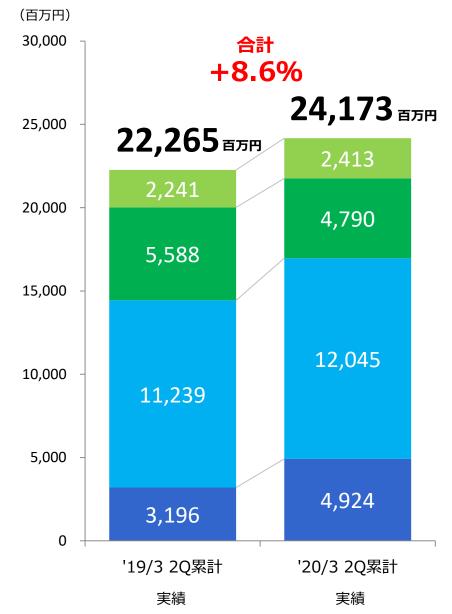


- ・売上高増加(+1,907)
- ・先行販売期間(~8月)における S-ICDの利益貢献が限定的

販管費の増加(営業利益の減少)

人件費(+93)、研究開発費(+100)支払手数料(+143)等

## 2020年3月期2Q累計 品目別売上高 対前年同期



#### リズムディバイス +54.0%

- 4月販売開始のS-ICDが売上高を牽引
- 9月よりBSC\*社CRM製品の全面販売を開始

#### EP/アブレーション +7.2%

- AF関連商品が引き続き増加
- 一般EPカテーテル等は競争環境厳しく減少

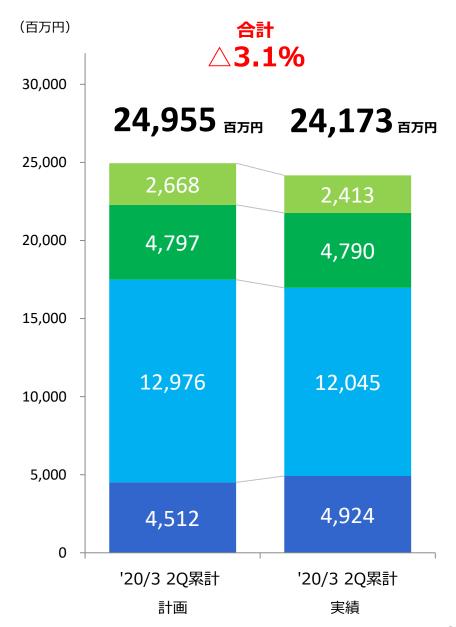
#### 外科関連 △14.3%

- 人工弁(5月)、胸部用ステントグラフト(3月) 販売終了
- オンリーワン製品のオープンステントグラフトが伸長

#### インターベンション +7.7%

- Orsiroはサイズラインナップ拡充を受け伸長
- ガイドワイヤーはAmatiが寄与

\*ボストン・サイエンティフィック社



#### リズムディバイス +9.1%

- 8月までMicroPort社製品が伸長
- S-ICDが計画を上回り増加

#### **EP/アブレーション** △7.2%

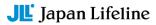
- AF関連商品が増加するも想定を僅かに下回る
- EPカテーテル等の競争環境を反映
- 内視鏡レーザーバルーンカテーテルの新規施設開 拓に時間を要す見通し

#### 外科関連 △0.1%

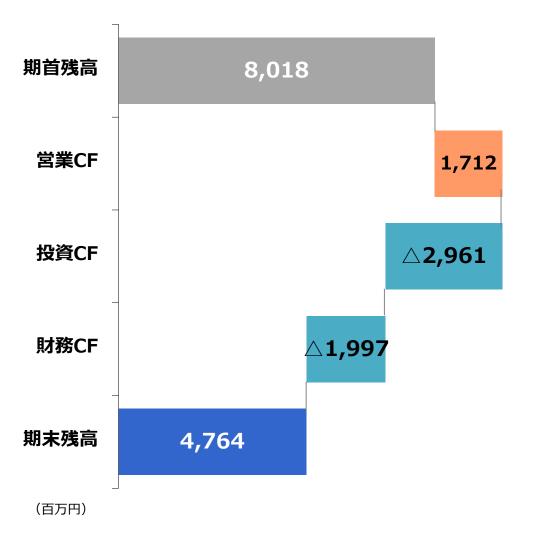
- 人工血管及びオープンステントグラフトの自社製品がけん引
- 血液浄化関連製品が計画を下回る

#### インターベンション **△9.6%**

- ガイドワイヤーはAmatiが寄与
- Orsiroは増加するも当初計画は下回る



### 対前期末 △3,254百万円



#### ■営業CF

【増加】	•	柷金等調整前四半期純利益	+4,841
	•	什入債務の増加額	+903

【減少】 • 法人税等の支払額 △1,733

未収入金の増加額 △1,124

・ 退職給付に係る負債の減少額 △969

#### ■投資CF

【増加】 ・ 投資有価証券の売却による収入 +1,000

【減少】・ 有形固定資産の取得による支出 △1,493

短期貸付けによる支出 △844

長期貸付けによる支出 △663

#### ■財務CF

【増加】	•	長期借入による収入	+665
_ : ::-:-	•	短期借入金の増加額	+ 520

[減少] ・ 配当金の支払額 △2,330

・ 自己株式の取得による支出 △456

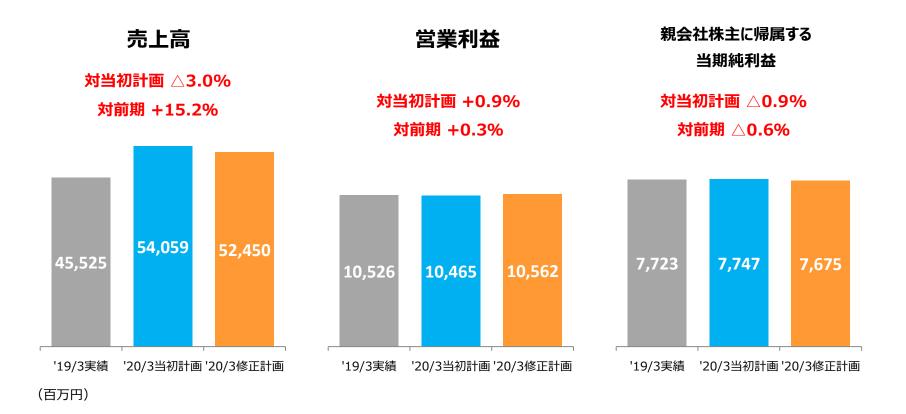
**JL** Japan Lifeline

# 2. 2020年3月期 通期業績予想の修正

常務取締役管理本部長 高橋 省悟

## 11/5付で通期業績予想を修正

- ・ 売上高は、リズムディバイスが伸長する一方、EP/ABL、インターベンションが計画を 下回ることにより、全体としては微減を想定
- ・ 一部の費用の支出が来期となる見通しとなったこと等により、営業利益は微増を見込む

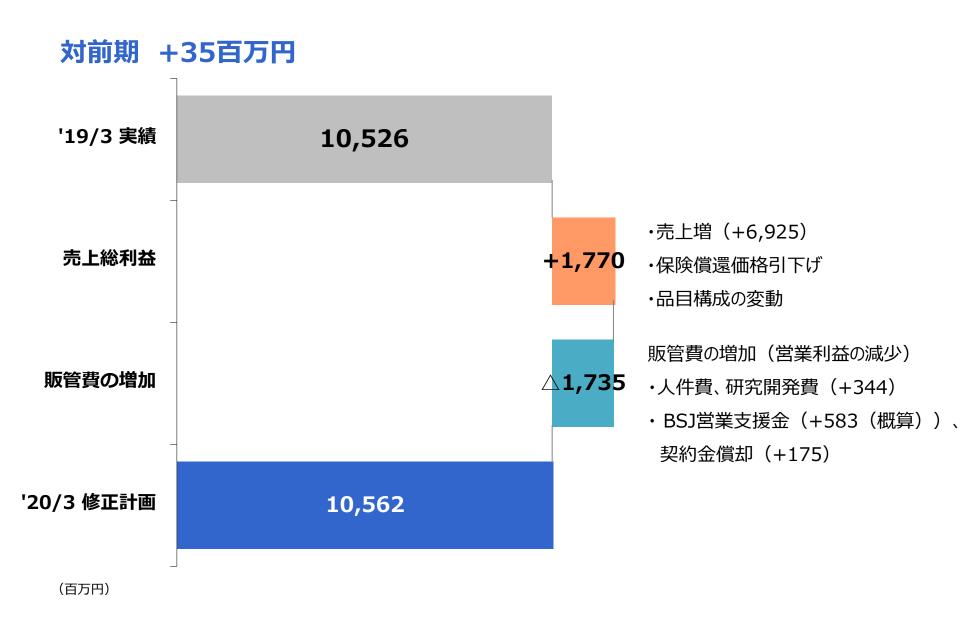


## 2020年3月期通期 連結業績予想

### ・ 売上高は微減、営業利益は額・率ともに当初計画を上回る見通し

(百万円)	2019/3期 通期 (実績)	<b>2020/3期</b> 通期 (当初計画) (′19/4/26発表)	<b>2020/3期</b> 通期 (修正計画) (′19/11/5発表)	前期比	計画比
売 上 高	45,525	54,059	52,450	+15.2%	△3.0%
売 上 総 利 益	27,822	30,600	29,592	+6.4%	△3.3%
	61.1%	56.6%	56.4%	△4.7pt	△0.2pt
販売費及び一般管理費	17,295	20,134	19,030	+10.0%	<b>△5.5%</b>
営業利益率	10,526	10,465	10,562	+0.3%	+0.9%
	23.1%	19.4%	20.1%	△3.0pt	+0.7pt
親会社株主に帰属する 当期純利益 当期純利益率	7,723	7,747	7,675	△0.6%	△0.9%
	17.0%	14.3%	14.6%	△2.4pt	+0.3pt

## 2020年3月期通期 営業利益 増減分析【対前期】





#### リズムディバイス +7.4%

- 上期から引き続きS-ICDの伸長を見込む
- Bradyに加え、Tachyのフルラインナップによる拡販

#### **EP/アブレーション** △7.8%

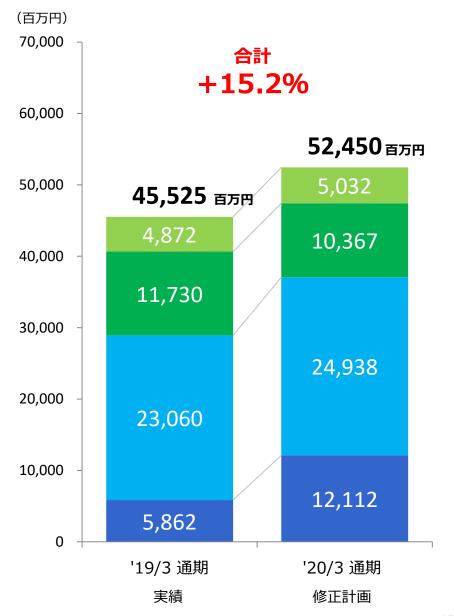
- EPカテーテル、食道温モニタリングカテーテルは競争 激化を考慮し減少見込む
- HeartLightは上期の施設開拓状況の遅れにより、 計画を下回る想定

#### 外科関連 +1.0%

• 人工血管、オープンステントグラフトの堅調な販売 を見込む

#### インターベンション △8.0%

- 競合品によりバルーンカテーテル、貫通用カテーテル の減少を見込む
- Orsiroの販売数量を下方修正



#### リズムディバイス +106.6%

- BSC社CRM製品のフルリリース
- Bradyに加え、Tachy販売による倍増見込む

#### EP/アブレーション +8.1%

- AF症例数の増加傾向が続く
- 保険償還価格引下げ、競合製品影響により、 一般EPカテーテル等は対前期で減少を想定

#### 外科関連 △11.6%

- 人工弁、胸部用ステントグラフトの販売終了による 売上減
- オンリーワン製品のオープンステントグラフトが伸長

#### インターベンション +3.3%

• 保険償還価格引下げの影響があるも、ガイドワイヤー、FFRにより前期を上回る見通し

### 2019/12にマレーシア工場の稼働を目指す

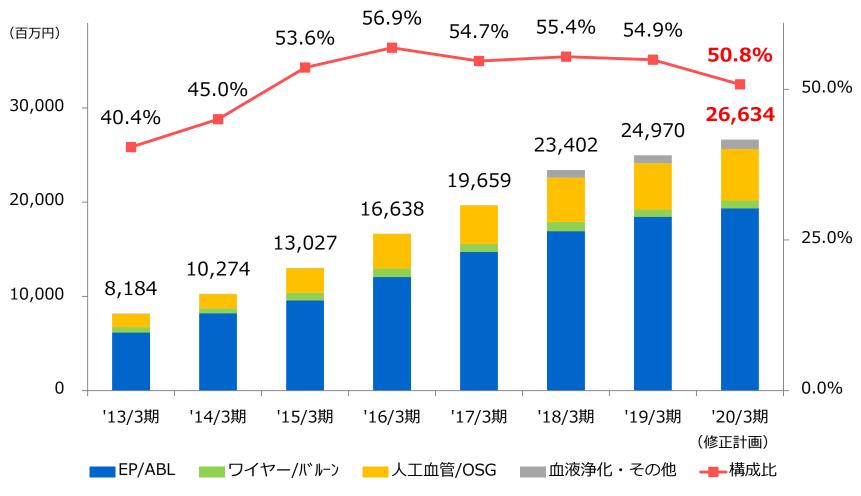
(百万円)		2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2020/3期 (計画)
設備投資額		1,752	905	3,630	1,248	3,571* <sup>1</sup>
減価償却費		717	753	953	1,176	1,254
研究開発費		933	1,051	1,121	1,431	1,776
期末従業員数	連結	795	829	906	932	1,096*2
(名)	単体	610	661	814	850	1,013* <sup>2</sup>

JLLマレーシアについては期末にB/Sのみ連結を想定していたが、非連結となる見通し

<sup>\*1</sup> 非連結のJLLマレーシア社分 設備投資額(2,104)を除く

<sup>\*2</sup> 連結・単体従業員数にはBSJ社出向社員含む、連結は非連結のJLLマレーシア社分(47名)を除く

### ・ 自社製品の成長が続くも、構成比は仕入商品の伸長により低下



※自社製品は、単体売上高に占める自社グループ製品の比率。'18/3より血液浄化を含める

# (資料) 品目別売上高 2Q累計

	2019/3月期	2020/3月期		2020/3月期		備考	
(百万円)	実績	当初計画		実績			
	2Q累計	2Q累計	2Q累計	対前年同期	対上期計画		
ペースメーカ関連	2,844	2,123	2,471	△13.1%	16.4%		
ICD関連	241	2,260	2,322	860.5%	2.7%		
その他 *	110	128	129	17.6%	0.9%	AED含む	
リズムディバイス 計	3,196	4,512	4,924	54.0%	9.1%		
EPカテーテル *	8,385	9,453	8,803	5.0%	△6.9%	心腔内除細動カテーテル含む	
ABLカテーテル *	638	983	684	7.3%	△30.4%	内視鏡レーザーアブレーションカテーテル含む	
その他 *	2,215	2,538	2,556	15.4%	0.7%	高周波心房中隔穿刺針含む	
EP/ABL 計	11,239	12,976	12,045	7.2%	△7.2%		
人工弁関連	764	173	247	△67.7%	42.2%		
人工血管関連 *	4,305	4,067	4,094	△4.9%	0.6%	ステントグラフト(胸部・腹部)、オープンステントグラフト含む	
血液浄化関連 *	478	546	430	△10.0%	△21.2%		
その他	40	9	18	△53.1%	90.2%	人工肺関連含む	
外科関連 計	5,588	4,797	4,790	△14.3%	△0.1%		
バルーン *	294	292	229	△21.9%	△21.4%		
ガイドワイヤー *	179	196	228	27.7%	16.2%		
その他 *	1,768	2,179	1,955	10.6%	△10.3%	貫通用カテーテル、心房中隔欠損閉鎖器具、大腸ステント、 薬剤溶出型冠動脈ステント、子会社販売商品含む	
インターベンション 計	2,241	2,668	2,413	7.7%	△9.6%		
合計	22,265	24,955	24,173	8.6%	△3.1%		

<sup>\*</sup>自社製品含む

# (資料) 品目別売上高 通期

	2019/3月期	2020/3月期		2020/3月期			
(百万円)	実績	当初計画		修正計画	備考		
	通期	通期	通期	対前年	対当初計画		
ペースメーカ関連	5,169	5,093	5,765	11.5%	13.2%		
ICD関連	496	5,856	6,030	1115.5%	3.0%		
その他 *	196	328	315	60.5%	△3.7%	AED含む	
リズムディバイス 計	5,862	11,277	12,112	106.6%	7.4%		
EPカテーテル *	17,028	19,443	18,027	5.9%	△7.3%	心腔内除細動カテーテル含む	
ABLカテーテル *	1,369	2,174	1,530	11.8%	△29.6%	内視鏡レーザーアブレーションカテーテル含む	
その他 *	4,662	5,429	5,380	15.4%	△0.9%	高周波心房中隔穿刺針含む	
EP/ABL 計	23,060	27,047	24,938	8.1%	△7.8%		
人工弁関連	1,448	173	256	△82.3%	47.5%		
人工血管関連 *	9,133	8,843	8,946	△2.0%	1.2%	ステントグラフト(胸部・腹部)、オープンステントグラフト含む	
血液浄化関連 *	1,070	1,228	1,136	6.1%	△7.5%		
その他	77	19	28	△63.4%	46.0%	人工肺関連含む	
外科関連 計	11,730	10,265	10,367	△11.6%	1.0%		
バルーン *	565	597	498	△11.9%	△16.6%		
ガイドワイヤー *	403	415	466	15.6%	12.2%		
その他 *	3,903	4,455	4,067	4.2%	△8.7%	貫通用カテーテル、心房中隔欠損閉鎖器具、大腸ステント、 薬剤溶出型冠動脈ステント、子会社販売商品含む	
インターベンション 計	4,872	5,468	5,032	3.3%	△8.0%		
合計	45,525	54,059	52,450	15.2%	△3.0%		

<sup>\*</sup>自社製品含む

# (資料) 連結損益計算書 2Q累計

					2019/	/3月期	2020/	2020/3月期		2020/3月期			
(百万円)					実	績	当初	当初計画		実績			
					2Q累計	構成比	2Q累計	構成比	2Q累計	構成比	対前年同期	対当初計画	
売		上		高	22,265	100.0%	24,955	100.0%	24,173	100.0%	8.6%	△3.1%	
売	上		原	価	8,686	39.0%	10,595	42.5%	10,340	42.8%	19.0%	△2.4%	
売	上	総	利	益	13,579	61.0%	14,360	57.5%	13,833	57.2%	1.9%	△3.7%	
販貿	含費及	びー	·般管理	理 費	8,719	39.2%	9,788	39.2%	8,981	37.2%	3.0%	△8.2%	
営	業		利	益	4,860	21.8%	4,571	18.3%	4,851	20.1%	△0.2%	6.1%	
営	業	外	収	益	413	1.9%	452	1.8%	484	2.0%	17.0%	7.1%	
営	業	外	費	用	184	0.8%	43	0.2%	494	2.0%	168.4%	1042.2%	
経	常		利	益	5,089	22.9%	4,980	20.0%	4,841	20.0%	△4.9%	△2.8%	
特	別		利	益	4	0.0%	0	0.0%	1	0.0%	△72.0%	-	
特	別		損	失	11	0.1%	0	0.0%	1	0.0%	△90.4%	-	
税	引	前	利	益	5,082	22.8%	4,980	20.0%	4,841	20.0%	△4.7%	△2.8%	
税	金		費	用	1,443	6.5%	1,555	6.2%	1,286	5.3%	△10.9%	△17.3%	
親会四	会社 株半 其	主は	帰属純利	する 益	3,638	16.3%	3,424	13.7%	3,555	14.7%	△2.3%	3.8%	

# (資料) 連結損益計算書 通期

					2019/	'3月期	2020,	2020/3月期		2020/3月期			
(百万円)					実	績	当初	当初計画		修正計画			
					通期	構成比	通期	構成比	通期	構成比	対前年	対当初計画	
売		上		高	45,525	100.0%	54,059	100.0%	52,450	100.0%	15.2%	△3.0%	
売	上		原	価	17,703	38.9%	23,459	43.4%	22,857	43.6%	29.1%	△2.6%	
売	上	総	利	益	27,822	61.1%	30,600	56.6%	29,592	56.4%	6.4%	△3.3%	
販管	营費 及	びー	般管理	里費	17,295	38.0%	20,134	37.2%	19,030	36.3%	10.0%	△5.5%	
営	業		利	益	10,526	23.1%	10,465	19.4%	10,562	20.1%	0.3%	0.9%	
営	業	外	収	益	571	1.3%	789	1.5%	827	1.6%	44.8%	4.8%	
営	業	外	費	用	289	0.6%	87	0.2%	604	1.2%	109.3%	589.8%	
経	常		利	益	10,808	23.7%	11,167	20.7%	10,784	20.6%	△0.2%	△3.4%	
特	別		利	益	5	0.0%	0	0.0%	1	0.0%	△76.1%	-	
特	別		損	失	12	0.0%	0	0.0%	1	0.0%	△91.1%	-	
税	引	前	利	益	10,801	23.7%	11,167	20.7%	10,784	20.6%	△0.2%	△3.4%	
税	金		費	用	3,077	6.8%	3,419	6.3%	3,109	5.9%	1.0%	△9.1%	
親会当	会社 株 期	主は純	帰属利	する 益	7,723	17.0%	7,747	14.3%	7,675	14.6%	△0.6%	△0.9%	

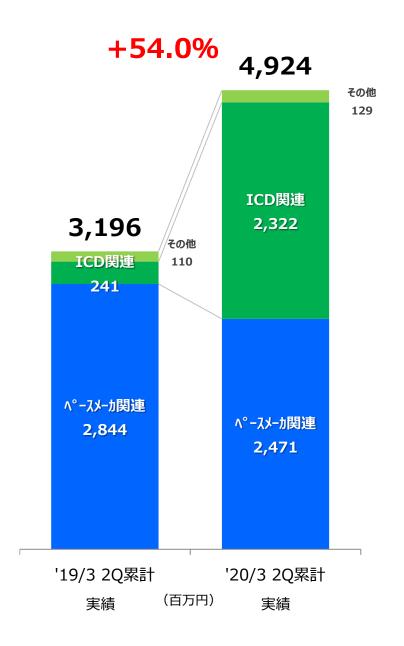
**J** Japan Lifeline

# 3. 販売状況および今後の見通し

代表取締役社長 鈴木 啓介

**J**L Japan Lifeline

# リズムディバイス

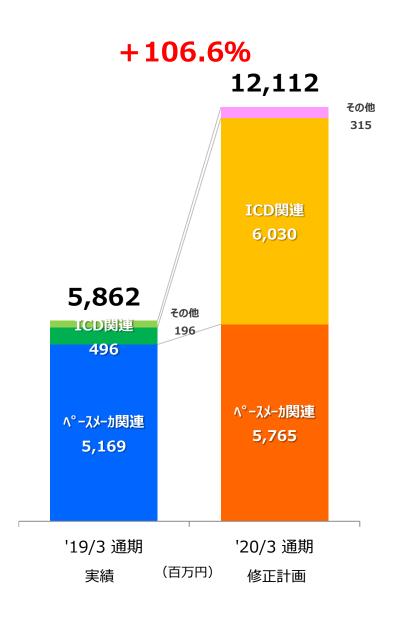


## ・ペースメーカ関連は減少

- 仕入先変更の発表を受け 旧仕入先製品の販売が減少
- 2019/9 よりBSC社製品の取扱いを 開始し、順調に販売数量を伸ばす

## ・ ICD関連はS-ICDが牽引

- 2019/4 よりS-ICDを先行販売
- 急速に販売数量が伸長



## 保険償還価格の引下げも売上倍 増

- 保険償還価格の引下げはあるものの、売上倍増を想定

## ・ペースメーカ関連は順調に推移

- 早期に販売数量を伸ばし、売上に 寄与する見込み

### ・ ICD関連は飛躍的に伸長

- 優れた頻脈治療領域の製品群により 徐脈治療中心の構成比から脱却

## CRM関連製品に関する独占販売契約

- 2019/9 から10年間 (以後2年毎の自動更新) に及ぶ 長期独占販売権を獲得
- 契約金:30億円

## ・営業支援契約

- 2019/9 から3年間
- BSJ社の全CRM営業人員が当社に出向し、将来的には 当社への転籍を想定
- 営業支援金:3年で最大27億円

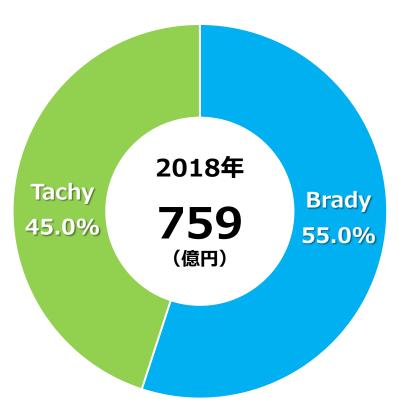
世界最大級の医療機器メーカーが CRM領域の販売を全面的に当社に委ねる



CRM領域の全製品をフルラインナップ

## ・徐脈治療領域(Brady)と頻脈治療領域(Tachy)

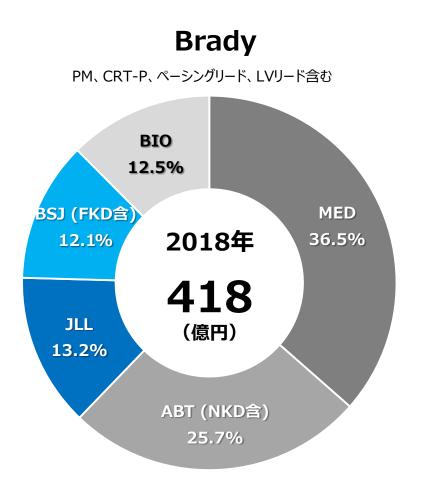
## 国内CRM市場

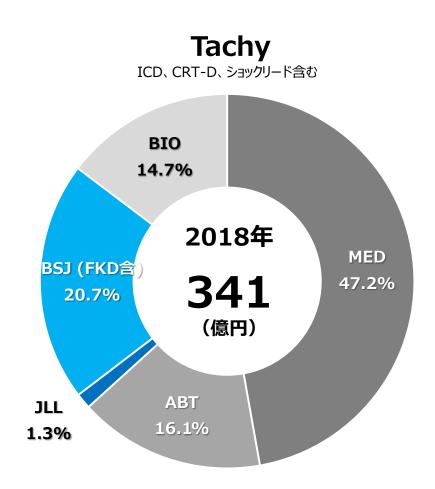


- 国内のCRM市場は成熟期にある
- 市場の構成は徐々にTachyへシフト
  - Tachyの方が成長性が高い
  - Bradyの構成比は縮小傾向

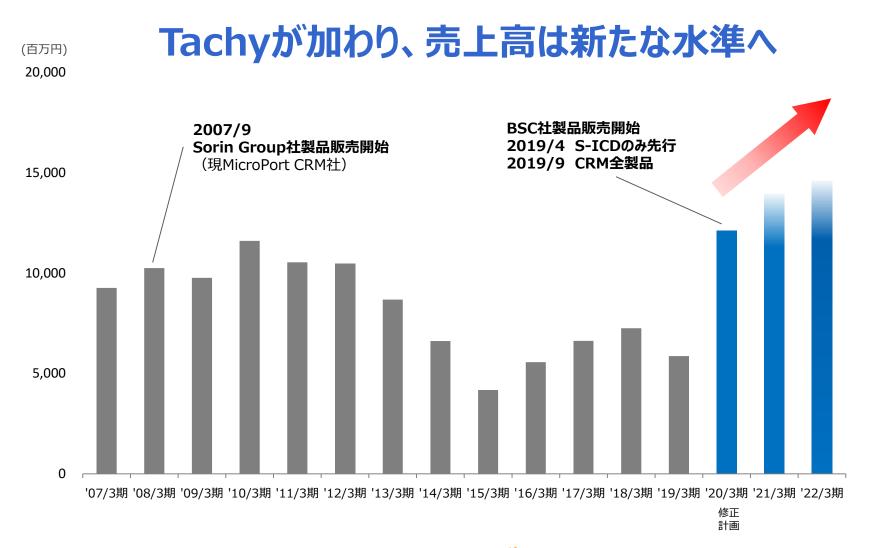
※ Brady: PM、CRT-P、ペーシングリード、LVリード含む

※ Tachy: ICD、CRT-D、ショックリード含む





JLL:日本ライフライン (MP)、MED:メドトロニック、ABT:アボット NKD:日本光電、FKD:フクダ電子、BIO:バイオトロニック

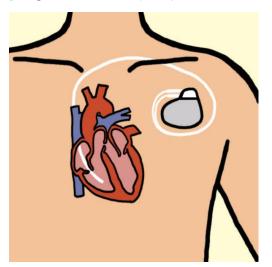


# トップシェアへ向け、まずは"No2"獲得へ

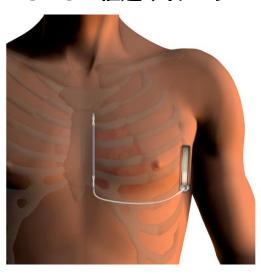
## ・4月先行販売のS-ICDが早期に販売数量を伸ばす

- オンリーワン商品「EMBLEM MRI S-ICD」
- 心臓と血管系に触れず除細動を可能に
  - 合併症リスク (感染症、リード損傷等) の排除・低減・回避
  - 静脈アクセスの温存

#### 従来のICD 植込みイメージ



S-ICD 植込みイメージ



**FEMBLEM MRI S-ICD** 



経静脈的に植込む (心腔内にリードを留置)

完全皮下植込み (心臓血管系に触れない)

# 高い製品力で頻脈治療領域において差別化を図る

## ・新たなCRT-Pを販売開始

- 両心室ペースメーカ「VISIONIST」
- 2019/9 より販売開始
- 自社製のバッテリーテクノロジーを搭載



# Tachyデバイスの3T MRI対応

ICD、CRT-Dが、3T MRI 対応へ(9/25承認取得) (S-ICDは除く)



- 2019/11より対応
- 電池寿命の長いBSC社のTachyデバイスの競争力がさらに高まる

# 開発力に裏付けられた優れた製品を 継続的に導入

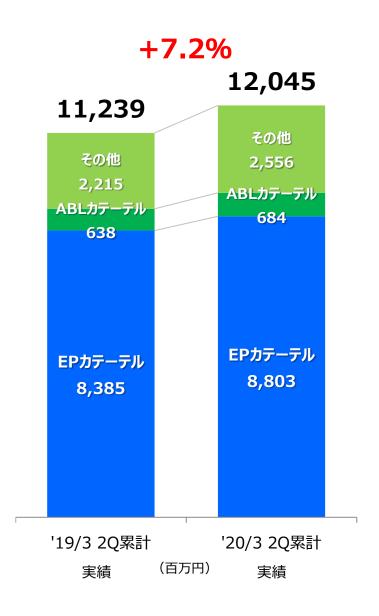
- BSC社独自の心不全診断システム 「HeartLogic™」
  - RESONATEファミリー搭載の次世代型心不全診断機能
    - 胸郭インピーダンス、呼吸数、運動量、心拍数に加え、心音を計測
    - FDA承認済
  - 心不全の兆候を事前かつ高精度に把握することが可能
    - 34日前に70%の確度(MultiSENSE Studyより)
  - 予後の悪化に繋がる心不全を未然に検知



# Tachyの競争力を さらに高める独自の診断機能に期待

**J** Japan Lifeline

# EP/アブレーション



## ・ AF症例が引き続き増加

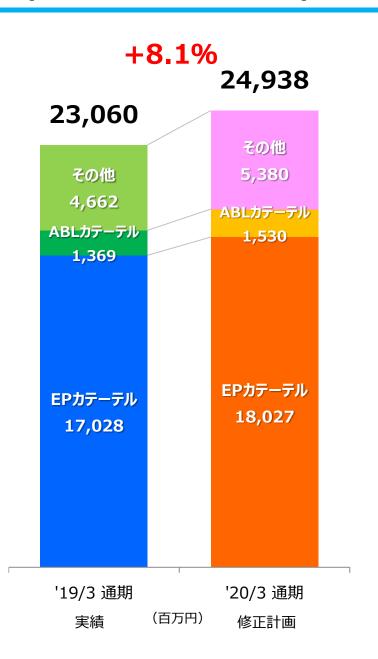
オンリーワン商品BeeAT、RFニードルが堅調に推移

## ・ EPカテーテルの競争激化

- 一般的なEPカテーテル、食道温モニタリングカテーテルの他社新規参入
- 前年同期に比べ販売数は減少

## ・新商品の普及に努める

内視鏡レーザーアブレーションカテーテル HeartLight



- ・下期も症例数の増加見込む
  - BeeAT、RFニードルの伸長
- ・保険償還価格改定の影響
  - EPカテーテル等
- ・下期は保守的に見通し修正
  - 一般的なEPカテーテル、食道温モニタリングカテーテルの競合影響
- HeartLightの浸透に努める
  - 新規施設の開拓

# ・ 足元のAF症例数の伸びはやや弱い傾向

- 通期は対前年同期+14%程度と想定
- 医療機関における働き方改革も、実施可能症例数に影響か
- 手技の効率化や医師、施設の増加が課題

# **・ カテーテル使用数に顕著な変化はない**

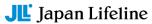
- 施設の医療費抑制意識は従来からのもの
- 高額カテーテルの併用は避ける傾向

# ・ 潜在AF患者数は依然として高い水準

- 発作性に加え、持続性・慢性症例の治療への関心も高まる可能性

# AF症例は引き続き二桁成長を見込む

# EP/アブレーション 内視鏡レーザーアブレーション



# ・ 内視鏡レーザーアブレーションカテーテル

- –「HeartLight」CardioFocus社製
  - 内視鏡で肺静脈を直視しながら焼灼
  - 多様な肺静脈形状へ適合
  - 良好な長期成績を期待



- 手技時間の大幅短縮が可能「X3」
- '22/3期の上市を目指す



内視鏡レーザーアブレーションシステム 「HeartLight(ハートライト)」 左:カテーテル 右:コンソール



次世代品の早期導入を目指し、治療領域の強化を図る

# ・心腔内除細動力テーテル「BeeAT」用 新ジェネレーター導入

- 次世代SHOCK AT
- 2020/1 上市予定
- 従来品の機能・利便性を向上したモデルチェンジ
- 特長
  - 新センシング機構による体表面心電図の検知精度向上
  - AC電源の採用
  - データ記録・読込機能

# オンリーワン製品もさらなる機能向上を図る

食道温モニタリング用 ソフトウェア



**Recorder** PLUS

2018/11上市

IVC\*アプローチ用 BeeAT



BeeAT

Via IVC approach

2019/2上市

左手用 スティーラブルシース



Guidee Leftee

2019/7上市

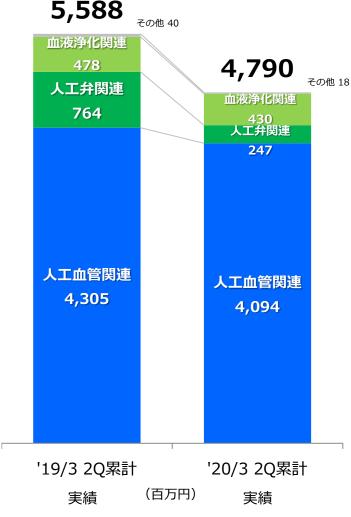
# 医療現場のニーズにきめ細かく応える

\*IVC:下大静脈

**J**L Japan Lifeline

# 外科関連

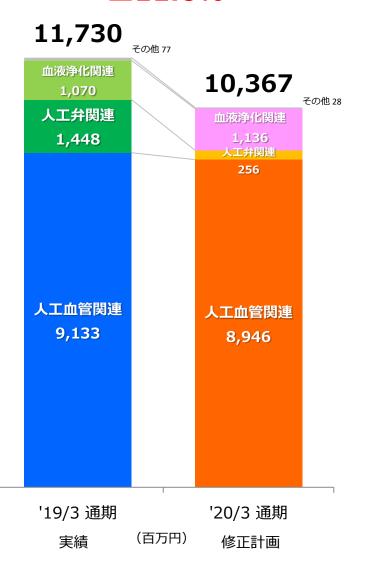




# オープンステントグラフトの伸長

- 預託在庫の拡充により、緊急性の高い 急性A型解離症例での使用が増加
- 一部商品の独占販売終了による 売上高の減少
  - 胸部用ステントグラフト (2019/3末)
  - 人工心臓弁関連商品(2019/5末)

### **△11.6%**



### オープンステントグラフト

オンリーワン製品として、さらなる普及を 目指し、引き続き注力

### ・人工血管

- 4分枝人工血管がオープンステントグラフトと併用され続伸見込む

**J**Graft



### 腹部用ステントグラフト

- 臨床実績の蓄積により一層のシェアを 拡大を目指す

# ・大動脈の低侵襲治療方法としての評価を確立

- 累積症例数は12,000例を超える
- 預託在庫の拡充により、緊急性の高い急性A型解離での使用増
  - 症例全体の5割が急性A型解離症例('18/3期では全体の3割)

# ・ラインナップ強化を図る

- 4分枝カフ付き製品の開発
  - 手技時間の短縮に寄与
  - '21/3期末上市を目指す

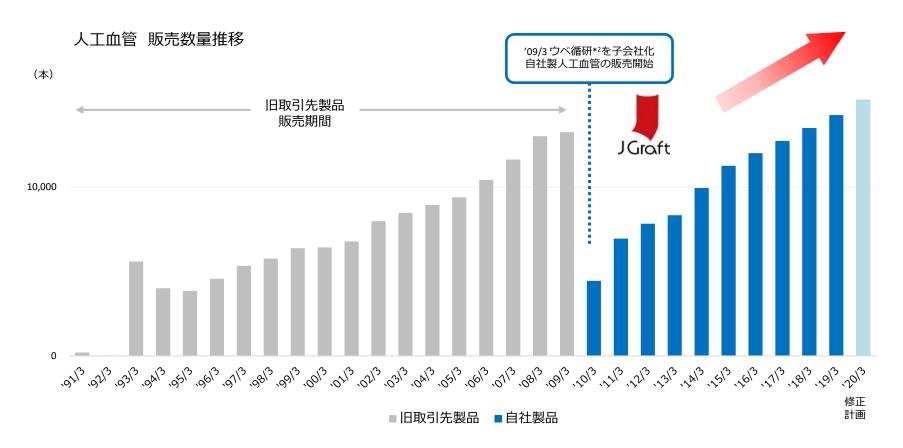
# ・ 海外進出に向けた取り組みも継続

- 台湾 導入施設の拡大に注力
- 欧州 CEマーク取得の取り組みを継続



豊富な臨床実績をもとに、更なる販売数量の増加を目指す

- ・ 自社製品化し10年、累積販売本数10万本を突破
- 国内トップシェア\*1 を誇る製品に成長



# 利益貢献も高く、屋台骨として外科関連事業を支える

<sup>\*1 2018</sup>年 大口径人工血管(R&D「医療機器用品年鑑」2019)

<sup>\*2</sup> 子会社化後、JUNKEN MEDICALに改称し、後に吸収合併

### FDA 注意喚起(2019/10/28)

 Endologix社の腹部用ステントグラフト「AFX」によるエンドリーク(ステント留置後の 血液漏れ)リスクが想定よりも高いと判断し、患者および医療従事者に安全性ア ラートを発行

### Endologix社 リリース(2019/10/29)

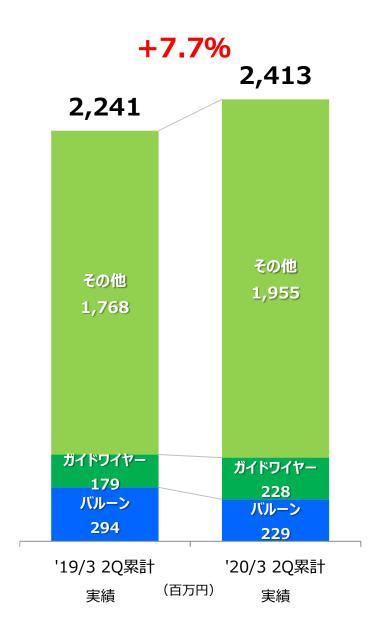
- FDAが参照している抄録は限定されたデータに基づいたものである
- Endologix社の持つデータからは他デバイスと比較し危惧される差はない

### 当社の見解

- 過去にエンドリークのリスクが指摘されたのは、Strata素材を使用した第1世代品であり、当社が過去に国内で販売した「AFX」および現在販売中の「AFX2」には、改良されたDuraply素材が使用されている
- Endologix社の示す通り、他デバイスと比較し危惧される差はないと認識している

**J**L Japan Lifeline

# インターベンション



# ・薬剤溶出型冠動脈ステント

当初計画には未達となるも、販売数量 は増加

### ・貫通用カテーテルは減少

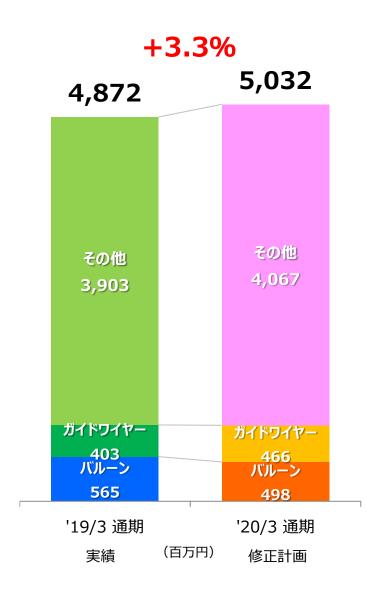
- 「GuideLiner」競合品の影響により減 少

# バルーンカテーテルは減少

- 競争環境が厳しく、販売数量は減少

# ・ガイドワイヤーは増加

- 「Amati」が好調に推移



# ・薬剤溶出型冠動脈ステント

- 厳しい競争環境と保険償還価格改定 により、前期並みを見込む

# ・競合製品の影響により減少

- 貫通用カテーテル
- バルーンカテーテル

## ガイドワイヤーは増加

「Amati」が好調

### ・肝癌治療領域への参入

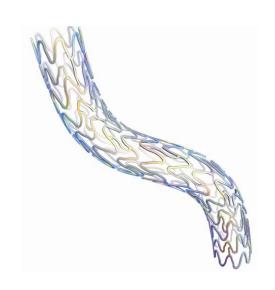
- 新製品「arfa」 12月フルリリース

# 「Orsiro」拡販に努める

- 臨床試験CASTLE Study\*1
- 国内における臨床実績を積み重ねる



- 循環器領域の世界最大級の学会 ESC\*2において、 BIOSTEMI試験結果が発表
- 術後1年時点のTLF\*3で競合製品に対し、 臨床上の優越性を示す



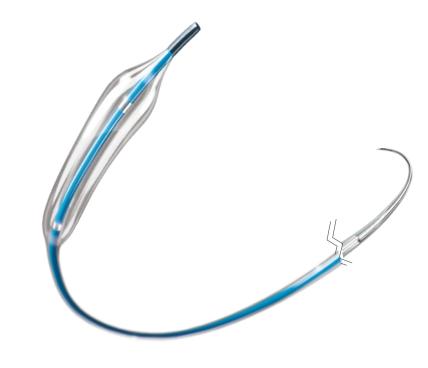


### さらに取組みを強化し、販売数量増加を図る

- \*1 Randomized Comparison "All-Comers" Study of Ultra Thin-Strut and Thin Strut Drug-ELuting Stents
- \*2 ESC: European Society of Cardiology
- \*3 Target Lesion Failure (標的病変不全: 心臓死、標的血管再心筋梗塞、再血行再建術)

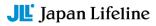
# ・ バルーンカテーテル「ignis」

- PTCAバルーンカテーテル
- canPassの後継品
- 細さ、柔軟性、すべり性能等の点で優れ、高い操作性を実現
- スプリングコイルを採用、屈曲部で 癖がつきにくい構造
- 2019/12 発売予定



バルーンカテーテル「ignis」

独自の構造を追求し、競争力の高い自社製品を導入



# · 肝癌治療用ラジオ波焼灼システム「arfa」

- 自社製品であり、唯一の国産製品
- アブレーション焼灼技術の応用
  - 焼灼中に組織の温度を計測可能
  - 高い操作性を実現
- 2019/12フルリリース
- 保険区分はA2(特定包括)\*
- 肝癌ラジオ波焼灼治療 約22,000例/年と推定





「arfa」 ジェネレータ 希望小売価格 5,800,000円

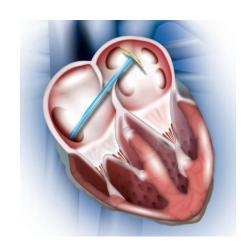
# 自社製品技術を応用し、癌治療という新たな領域へ

\*保険償還ではなく、特定の診療報酬項目において包括的に評価される。

### ・卵円孔開存閉鎖デバイス治験の開始

- 卵円孔のカテーテル閉鎖術により、片頭痛の改善の可能性が報告されている
- 兆候のある薬物抵抗性の片頭痛の治療方法確立を目指す
- 岡山大学 成人先天性疾患センター主導治験
- 治験終了は2023年ごろを想定







片頭痛に対する新たな治療方法の確立へ向け 医師主導治験をサポート



# 中期経営計画について

# 事業分野 状況 / 取り組み事項 BSC社製品への順調な切り替えを受け、規模拡大を見込む リズムディバイス 不整脈治療分野における営業効率の向上に期待 潜在患者数は多く、AF症例数増加トレンドに変化はない EP/アブレーション HeartLightによる治療領域の開拓に努め、X3上市を急ぐ 人工血管、オープンステントグラフトのさらなる伸長を期待 外科関連 Nexusの早期導入を目指す OrsiroをはじめとするPCI関連商品のさらなる拡販 インターベンション 消化器領域等の新領域の開拓を進める

# 海外展開

【アジア】 2019年11月に韓国現地法人を設立

【欧州】 オープンステントグラフトのCEマーク取得に引き続き取り組む

【北米】一部のEPカテーテルの半完成品の輸出による北米進出

# 新領域の開拓

## 【消化器領域】

- 大腸ステントの拡販
- ・ 肝癌治療用ラジオ波焼灼システムの早期普及

# 今後も精力的に取り組み、長期的成長を目指す

# 次期中期経営計画は 様々なプロジェクトの最新状況を踏まえ 2020年5月の更新を予定

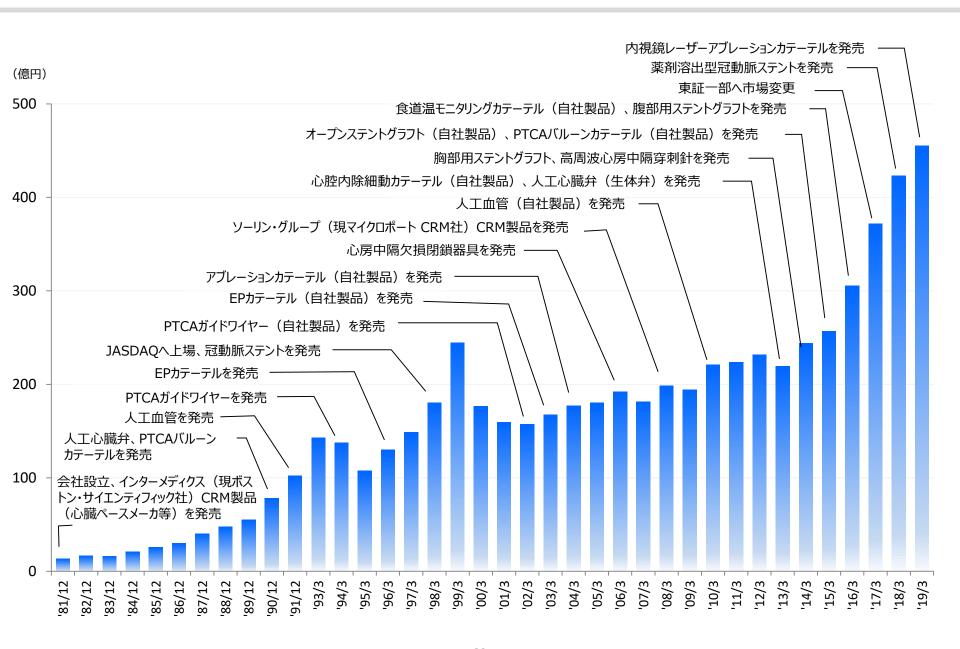
**J** Japan Lifeline

# 会社概要

# 会社概要



商		号	日本ライフライン株式会社
代	表	者	代表取締役社長 鈴木啓介
本		社	東京都品川区東品川2-2-20 天王洲オーシャンスクエア
設		立	1981年2月6日
株		定	東証一部上場
証	券コー	۴	7575
事	業内	容	医療用機器の製造、販売、輸出および輸入販売
資	本	金	2,115百万円
従	業員	数	連結932名/単体850名(2019年3月31日 現在)
事	業	所	営業拠点48ヶ所(国内47ヶ所、海外1ヶ所)、羽田ロジスティックスセンター、 関西ロジスティックスセンター、リサーチセンター、戸田ファクトリー、小山ファクトリー、市 原ファクトリー、天王洲ACCADEMIA(研修センター) (2019年3月31日現在)
連:	結子会	社	SYNEXMED(HONG KONG)LTD.、心宜医疗器械(深圳)有限公司



当社は創業以来、不整脈や心筋梗塞等の心疾患を治療するための医療器具を扱っており、事業領域は<u>リズムディバイス</u>、<u>EP/アブレーション</u>、<u>外科関連</u>、<u>インターベンション</u>の4つに大別されます。

#### リズムディバイス

不整脈(心臓の拍動が正常よりも遅くなる、または早くなる状態)を治療する、 主に体内植込み型の器具を扱います。

### EP/アブレーション

EPカテーテル
アブレーションカテーテル
心腔内除細動カテーテル
高周波心房中隔穿刺針
内視鏡レーザーアブレーション
カテーテル

### EP/アブレーション

不整脈の検査や治療を行うための、ディスポーザブル式の電極のついたカテーテル (細い管)を扱います。

### リズムディバイス

心臓ペースメーカ ICD CRT-P CRT-D AED

### インターヘ゛ンション

ガイドワイヤー バルーンカテーテル 心房中隔欠損 閉鎖器具 薬剤溶出型 冠動脈ステント

#### 外科関連

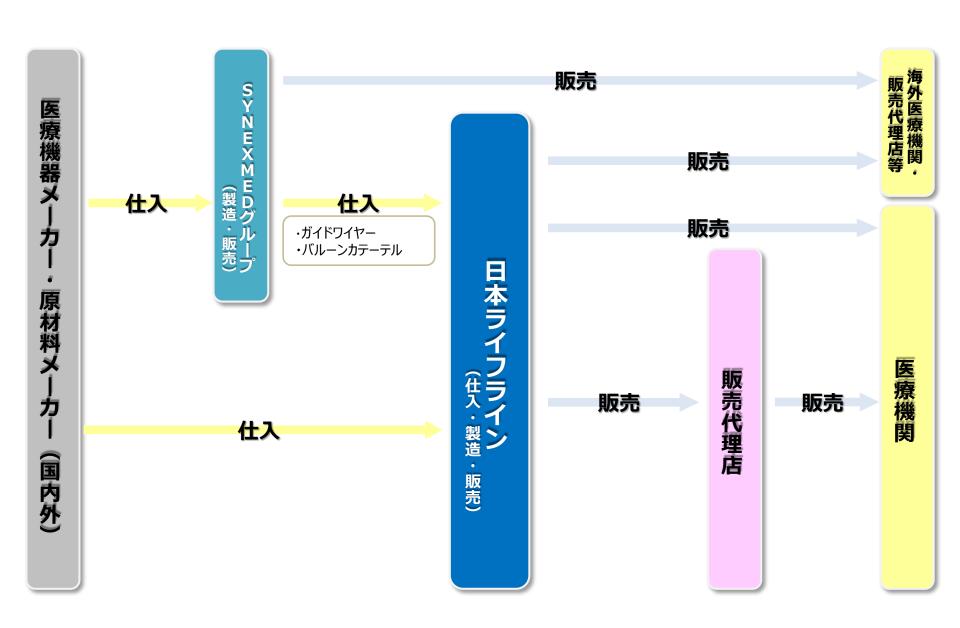
本来の機能が失われてしまった血管を、 外科手術により人工の器官に置き換え、 治療するための器具を扱います。

### 外科関連

人工血管 オープンステントグラフト ステントグラフト 血液浄化関連

#### インターベンション

カテーテル (細い管) を皮膚を通して血管に挿入し、心筋梗塞等の治療を行う器具を扱います。外科手術に比べ、患者様への負担が小さい治療法です。



#### 心臓ペースメーカ

(Boston Scientific社製)



心臓の拍動が正常よりも遅くなる不 整脈(徐脈)に対して、人工的に 電気刺激を与えることで拍動を保ち ます。

> 心臓の拍動が異常に早まる不整脈 (頻脈) のうち、致死性の不整脈で ある心室細動の発生を検知し、電気 ショックを与えることで、拍動を正常な 状態に戻します。

#### ICD(植込み型除細動器)

(Boston Scientific社製)



### 両心室心臓ペースメーカ

(Boston Scientific社製)



重症心不全に対して、心臓の左右 両方の心室に電気刺激を与えるこ とで、心臓の同期不全を整えポンプ 機能を改善します。

#### S-ICD (完全皮下植込み型 除細動器) (Boston Scientific社製)



従来のICDは経静脈を介し心臓内に リードを留置するのに対し、S-ICDは全 てのシステムを皮下に植込むことで血管 内や心臓へ異物が留置されません。

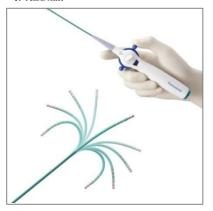
CRT-D (除細動機能付き両心室 ペースメーカ) (Boston Scientific社製)



両心室心臓ペースメーカの機能に加 え除細動機能も有しており、致死性 の不整脈の発生時は、本体から電気 刺激を心臓内に与え治療を行います。

#### アブレーションカテーテル

(自社製品)



頻脈の原因となる心臓内の異常な電気刺激の経路を、カテーテル先端部の電極から流す高周波電流で焼き切ることにより治療します。

不整脈の診断や治療方法の適応を 判断するための検査に用いられます。 カテーテル先端に電極がついており、 心臓内の電位を測定したり、不整脈 を誘発させることで原因を特定します。

# EP(電気生理用)カテーテル (自社製品)



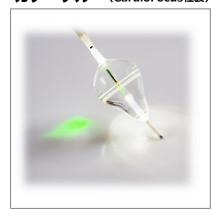
### 心腔内除細動カテーテル

(自社製品)



アブレーション治療の際に発生する心房細動に対し、心腔内で除細動を行うことにより、低侵襲に心房細動を停止させます。またEPカテーテルとしての診断機能も合わせ持っています。

内視鏡レーザーアブレーション カテーテル (CardioFocus社製)



バルーン内部からレーザーを照射し、頻 脈の原因となる部位を焼き切り治療します。カテーテル内部の内視鏡により、正 確な留置および焼灼が可能です。

高周波心房中隔穿刺針

(BAYLIS MEDICAL社製)



アブレーション治療などの際に、左右 の心房の間にある壁 (心房中隔) に、カテーテルを通すための穴を高 周波により開ける際に使用します。

### 人工血管

(自社製品)



開胸手術により動脈瘤などで痛んだ血管を切り取り、人工血管に置き換え治療します。

大動脈に挿入し拡張することにより血管に固定します。片側の吻合が不要なため、開胸手術を行うものの低侵襲に 大動脈瘤の治療を行います。

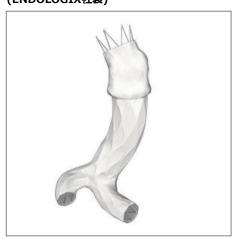
#### オープンステントグラフト

(自社製品)



### ステントグラフト

(ENDOLOGIX社製)



外科手術を行うことなく、足の付け根の 血管からカテーテルを通じて、治療部位 に留置し大動脈瘤を治療します。

> 急性血液浄化療法に用いられる医療 機器であり、血液から有毒な物質など を除去することで治療します。

### 血液浄化装置

(自社製品)



#### バルーンカテーテル

(自社製品)



心臓の筋肉に酸素や栄養を送る血管(冠動脈)が詰まることが原因となる心筋梗塞や狭心症の治療に用いられます。血管の詰まった部分で風船(バルーン)を拡張させ、再度血流を確保します。

バルーンカテーテルを血管の詰まった部分に導くために用いられます。 ガイドワイヤーを血管の詰まった部分の先まで通過させ、これに沿ってバルーンカテーテルを進めます。

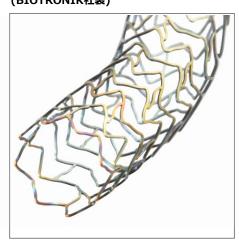
#### ガイドワイヤー

(自社製品)



### 薬剤溶出型冠動脈ステント

(BIOTRONIK社製)



血管の詰まった部分を風船(バルーン)で拡張させた後に留置し、再び詰まるのを防ぎます。また塗布された薬剤も再発防止に効果があります。

先天的に心臓の左右の心房を隔 てる壁に穴が開いている疾患(心 房中隔欠損症)を、外科手術を 行うことなくカテーテルを用いて閉鎖 栓という円盤状の器具で塞ぎ治療 します。

### 心房中隔欠損閉鎖器具

(Occlutech Holding AG社製)



### 研究開発

リサーチセンター (埼玉県戸田市)



 $(2018/04 \sim)$ 

### 中核工場

戸田ファクトリー(埼玉県戸田市)



 $(2012/01\sim)$ 

### 量産対応

小山ファクトリー (栃木県小山市)



 $(2014/10\sim)$ 

### 血管・OSGの開発・生産

市原ファクトリー(千葉県市原市)



(2011/01~)

### 海外工場①

シンセン工場 (中国深圳市)



 $(2010/10\sim)$ 

### 海外工場②

**マレーシア工場(マレーシアペナン州)** JLL Malaysia



(2020/01~予定)

# ご注意事項

本資料の記載内容のうち、歴史的事実でない事項は、当社の将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。特に、商品や製品の導入に関係する、治験および薬事承認に係る事項、また発売時期につきましては、過去の経験や入手可能な情報から得られた当社の予測であります。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実な要因の影響により、本資料記載の見通しと異なる可能性がありますので、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。

### 本資料に関するお問い合わせ先

日本ライフライン株式会社 経営戦略部

TEL:03-6711-5214

E-Mail:ir@jll.co.jp

URL:https://www.jll.co.jp